



へいとう 台湾 屏東 県



©袋井市

袋井市は、台湾の屏東（へいとう）県と都市間交流を行っています。

その関係は、袋井市出身の「^{とりのぶへい}鳥居信平」氏から始まりました。

「^{とりのぶへい}鳥居信平」氏は、袋井市出身の農業土木技師です。

大正時代、台湾の屏東県の洪水と干ばつに苦しむ土地で、地下ダムや農業用水路の整備に携わりました。

それらは環境に配慮したもので、今も活用されています。

その「屏東県」がどのようなところなのか、少しご紹介します！



屏東県は台湾の最南端の県です。緯度は香港やマカオと同じで、海も山もあります。

気候は一年中温暖で、南国ムードにあふれています。

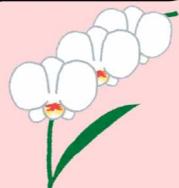
屏東県には、言語も風習も異なるいくつもの民族が住んでいます。

屏東県の名産品は、パイナップルとマンゴーです。昨年は日本で見える機会が多かったですね！他にも、バナナ、ゴーヤー、カカオ、あずきなど、多くの農作物を栽培しています。



レンブ(蓮霧)

日本ではあまりなじみがないですが、屏東県は「レンブ（蓮霧）」という果物も有名です。サクサクとした食感の果肉は非常にジューシーで、皮が美しい深紅であることから「黒い真珠」と呼ばれています。



胡蝶蘭をはじめ、花の栽培も盛んです。

また、クロマグロの漁獲量はアジアでトップを誇ります！



「花瓶岩」

小琉球を代表する撮影スポット
草花を生けた花瓶に似ている

屏東県には、「小琉球（しょうりゅうきゅう）」と呼ばれる離島があります。

「小琉球」は、台湾で唯一のサンゴ礁の島です。

美しく自然豊かで、シュノーケリングが楽しめます。

また「小琉球」は、アオウミガメの重要な生息地です。

シュノーケリングをしていると、アオウミガメと出会えることもあるそうですよ！

